





画聖雪舟ゆかりの禅寺

宝福寺



指定区分	県指定史跡
読みかた	ほうふくじ
所在地	総社市井尻野
指定年月日	平成12年3月28日
解説	臨済宗東福寺派の寺院で、画聖雪舟ゆかりの禅寺である。室町末期の備中兵乱の戦火により三重塔を残して焼失したが、江戸時代以降、七堂伽藍が徐々に復興された。境内には山門、仏殿、三重塔をはじめ、経蔵、庫裡、方丈、書院、禅堂、鐘楼堂、開山堂などが配置され、禅宗様式の重厚な構成を示している。
アクセス方法	JR総社駅から車で約10分 / 岡山自動車道岡山総社ICから車で約20分
公開状況	外観は自由。境内内部や座禅体験等は事前に問い合わせが必要。
設備	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>駐車場</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>トイレ</p>  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-top: 5px;"> <div style="text-align: center;"> <p>障害者用駐車場</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>障害者用トイレ</p>  </div> </div>
備考	水墨画で有名な雪舟が少年時代に修行した寺。修行もそこに絵ばかり描いていた雪舟をこらしめるため住職が柱に縛ったところ、泣いた涙を使い足で描いたネズミの絵が本物そっくりだった話で有名。

きつずページ



していくぶん (指定区分)	県指定史跡
ぶんかざいめい (文化財名)	宝福寺
よみかた	ほうふくじ
しょざいち (所在地)	総社市井尻野
していたひ (指定した日)	平成12年3月28日
せつめい	室町時代(むろまちじだい)の水墨画家(すいぼくがか)雪舟(せっしゅう)が、子どものころに修行(しゅぎょう)していたお寺(てら)です。足をつかって涙(なみだ)で描(か)いたネズミの絵の話(はなし)はとても有名(ゆうめい)です。お寺は室町時代のおわりごろ、戦(いくさ)によって建物(たてもの)は焼失(しょうしつ)してしまいましたが、三重塔(さんじゅうのとう)だけ残(のこ)りました。失(うしな)われた建物は江戸時代(えどじだい)はじめごろから徐々(じょじょ)に建(た)て直(なお)されて、元にもどりました。